

麻酔科蘇生科

【診療科(部)の特色】

- ・手術中の麻酔管理を介して、基本的全身管理や基本的手技の修得ができる。
- ・手術に関わる疾患や術前合併症など、様々な疾患を経験できる。
- ・術後の集中治療管理や周術期の痛みの治療を介して臓器保護の方法や鎮痛薬の使用方法などを学ぶことができる。
- ・全診療科とコミュニケーションが取れる。

【研修内容】

- ・術前の患者評価、麻酔薬の選択、症例プレゼンテーション
- ・気管挿管、点滴ルート確保、腰椎穿刺、術中麻酔管理
- ・術後診察、疼痛管理
- ・集中治療、ペインクリニック、緩和ケア

【研修目標】

- ・患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる医師を育成
- ・鎮静薬、鎮痛薬、局所麻酔薬、循環作動薬など注射薬を中心とした薬剤の安全な投与方法の修得
- ・基本的手技（気管挿管、点滴確保、局所麻酔、胃管挿入、動脈採血など）の修得
- ・各種モニタの設置（心電図、血圧計、パルスオキシメータなど）、検査値（血液ガス分析、各種血液検査、呼吸機能検査、各種画像検査、脳波など）の解釈・理解

【研修週間スケジュール例】

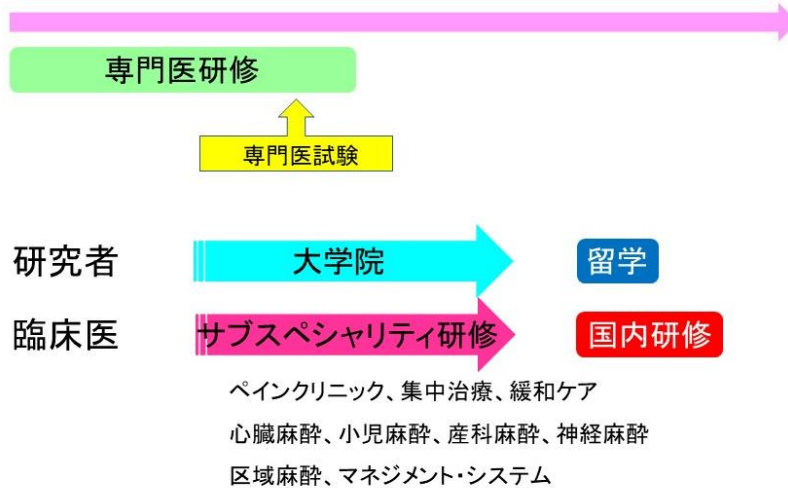
月～金曜日は、毎日1～3例の麻酔症例を指導医と担当します。

麻酔準備	症例検討会	手術麻酔	休憩	手術麻酔	術後・術前診察	
7:00	7:30	8:30	11:30	12:00	17:00	19:00

- ・希望により研修期間の一部または全部で集中治療、ペインクリニック、緩和ケア領域研修を行うことも出来ます。

【キャリアパス】

卒後3年目 4年 5年 6年 7年 8年 9年 10年



【指導医からのコメント】

- ・基本的手技の多くは全身麻酔下で施行するので、ゆっくり落ち着いた状態で学ぶことができます。
- ・麻酔科で学ぶ全身管理技術は他の全ての診療科で役に立ちます。
- ・気管挿管がある程度安定して出来るために、8週間の麻酔科研修を勧めます。

【先輩(若手医師)からのコメント】

- ・手術・麻酔中は常に指導医がそばにいるので、色々なことを教えてもらいやすいです。
- ・麻酔科の楽しさや面白さは講義や見学だけでは十分にはわかりません！ぜひ麻酔科で研修してください。

【お問い合わせ先】

山口大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科
山下 敦生
TEL : 0836-22-2291
E-mail : ymst2699@yamaguchi-u.ac.jp

